



3月18日は点字ブロックの日

校長 池田 忠徳

「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る」とはよく言ったもので、ただでさえ行事の多い三学期、年明けからのコロナ第6波で学校行事の実施の可否や内容の見直し等の対応で、一月はあつという間に行ってしまいました。コロナは終息せぬどころか蔓延防止等重点措置は延長され、2月も早々に逃げていき、去ろうとする三月を全力で追いかけています。

そのような中、来る3月18日（金）の点字ブロックの日になんで、本校PTAと生徒会の合同で点字ブロックの啓発活動を行うこととしています。

点字ブロックは、1965年に三宅 精一氏が視覚障害のある友人のために発案・発明し、1967年3月18日に岡山県立岡山盲学校付近に設置されたそうです。正式には視覚障害者誘導用ブロックといい、視覚障害者用タイルとも呼ばれ、2012年には国際規格も定められています。

さて、本校の点字ブロックの啓発活動は、平成26年にPTAの活動として始まり、JR佐賀駅や佐賀市内の商業施設で啓発用のポケットティッシュの配布をしていましたが、令和元年と2年度はコロナ禍で実施を見合わせていました。

今年度は生徒会の皆さんが自分たちにも何かできることはないかと考え、駅の構内放送やホームの転落事故防止ポスター掲示等、コロナ禍でもできるような活動を計画しました。この様子は本校HPでも紹介したいと思いますのでよろしければご覧ください。



盲学校の校内でも点字ブロックを設置しています。配布予定のポケットティッシュはこちらです。↓



【令和3年度学校評価結果について】

今年度の学校評価結果は、盲学校ホームページから3月18日よりご確認いただけます。今年度は「夢をはぐくみ、未来をひらく盲学校」～アップデートと持続可能性～を、キーメッセージとし、「自立と社会参加に向けた力の育成」「専門性向上に向けた研究・研修の充実と、力を引き出す授業の実践」「視覚障害教育センター的機能の充実と周知」に取り組みました。

学校評価にあたっては、保護者並びに学校評議員の皆様方から、たくさんのご意見をいただきました。この貴重なご意見をもとに、来年度も本校を、より良い学校にするため、職員一同がんばっていきたいと思います。



こちら
から
どうぞ↓



幼小小学部

【卒業おめでとうございます】

今年度、幼稚部1名、小学部2名の幼児児童が卒業します。幼児は居住地の小学校へ「小学校で友達となかよく元気に遊びたい。」と、進学します。児童は本校中学部へ「数学をがんばりたい。部活でフロアーバレーボールをしたい。」「中学部の先生たちと楽しいことをいっぱいしたい。」との思いで進学します。本校幼小小学部で培った力を新しい場で発揮してほしいと願っています。



中学部

【社会見学～佐賀をさがそう！&思い出作り】

今年度最後に、学部全員で社会見学を実施することができました。駅から中央大通りを歩きながら、いろいろなミッションをクリアして、佐賀について学びました。感染症対策として、すべて屋外の活動で、昼食はテイクアウトして、こころざしの森のテラスで食べました。3人で協力して楽しい活動ができ、卒業前の素敵な思い出になりました！



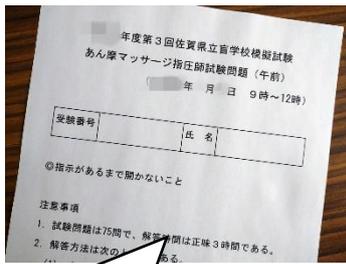
こんな風景もいつか笑える日がくるといいな



高等部

【あはき師国家試験 2/26、27】

第30回あん摩マッサージ指圧師・はり師・灸師の国家試験が本校を会場に実施され、専攻科理療科1名、保健理療科3名が受験しました。この両日こそ、まさに理療科3年間の学びの集大成。職員一同、必ずや良い結果が出るものと確信しています。



何度も繰り返し解いた模擬試験。細工は流々！

【祝卒業！】

今年度の卒業生は、普通科1名、保健理療科3名、専攻科理療科1名の合計5名です。いよいよ卒業式は3月11日。新たな門出に幸多からんことを。

寄宿舎

【節分行事 2月2日】

舎では節分行事を行っています。今年度は、コロナウイルス感染症対策を行い、豆まきは行わずに福菓子として、福の神が節分ロールを舎生に配りました。舎生の中には、すぐに北北西を向いてロール菓子を口いっぱいにはおぼっている姿が見られました。



【女子棟 花の活動】

女子棟では花の活動を行い、バラの香りを楽しんだり、フォトフレームを作ったりなど寄宿舎を華やかに彩ってくれています。寄宿舎玄関下駄箱に飾っています。ご覧ください。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

盲学校
目の支援センター
ゆうあい



TEL 0952 - 23 - 4672